

平成23年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

＜お知らせ＞ 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

パイナップルコナカイガラムシ(果樹・野菜)

学名 : *Dysmicoccus brevipes*



マンゴー果実のコロニー



雌成虫(寄主: ナス)



雌成虫(寄主: マンゴー)



ナス葉柄上のコロニー

生態と被害

別名パインコナカイガラムシとも呼ばれる。雌成虫は体長3mm内外、ピンク色で全体白粉で覆われ、体周縁のフサ状ロウ質分泌物の突起は比較的長いことから、他種と区別できる。雄は認められず、単為生殖を営み、卵胎生で周年幼虫から成虫がみられる。沖縄では年6～7世代で、9月下旬から10月上旬にかけてもっとも個体数が多い。世界中に広く分布している。我が国では南西諸島、小笠原に発生する。沖縄ではパイナップルの他、マンゴー、バンジロウの果樹類、果菜類、ヤシ類、樹木類など多様な植物の葉、茎、果実、根などに寄生し吸汁被害を及ぼす他、多発すると分泌物や併発するすす病によって果実が汚れる被害もみられる。

平成24年3月1日

沖縄県病害虫防除技術センター

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>